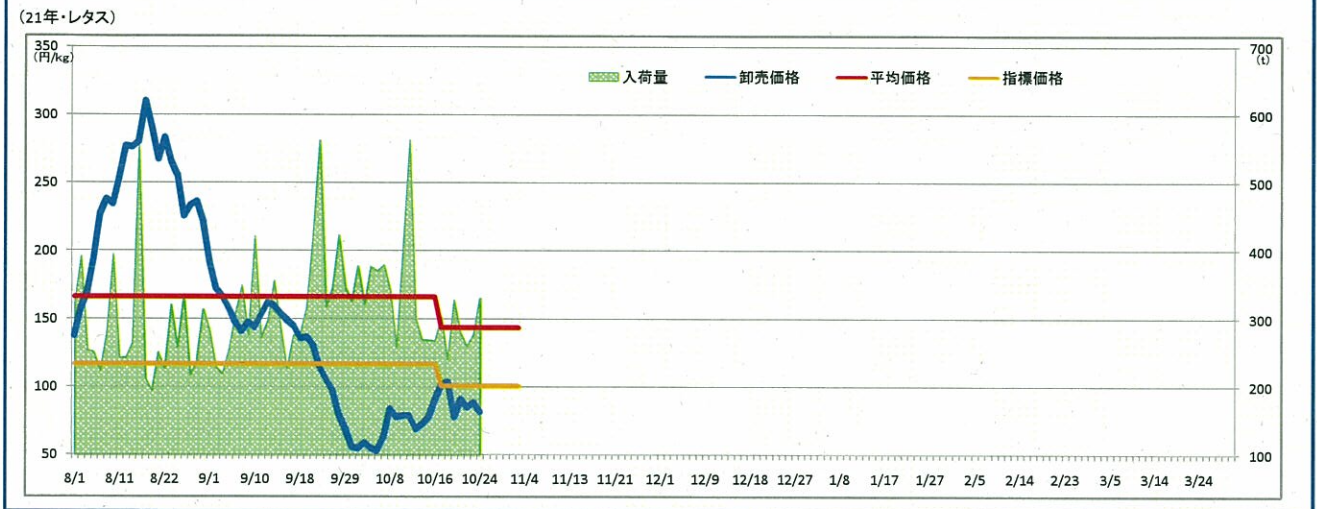
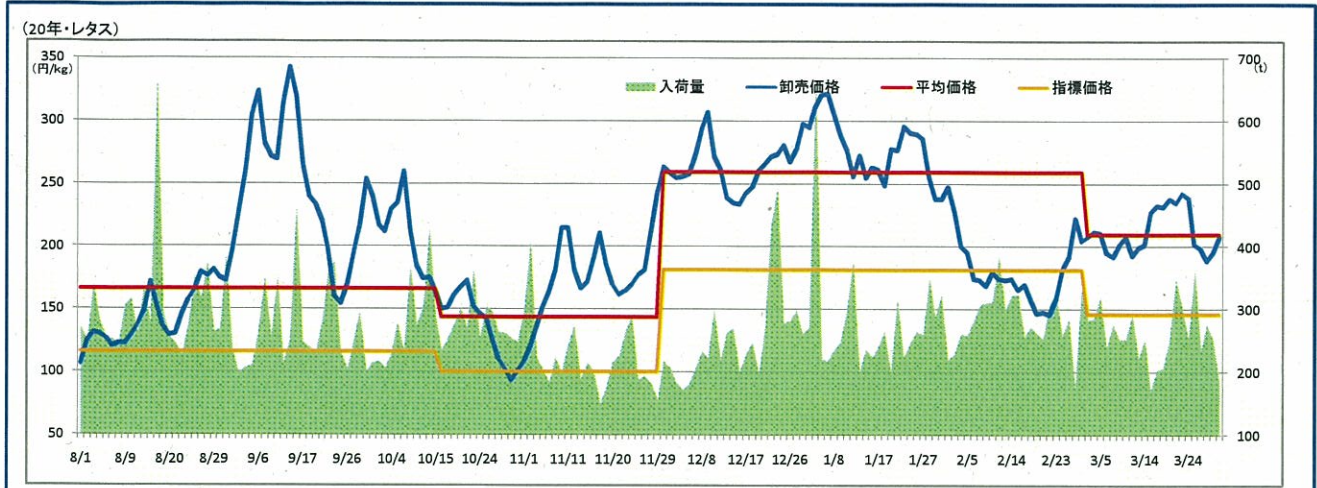


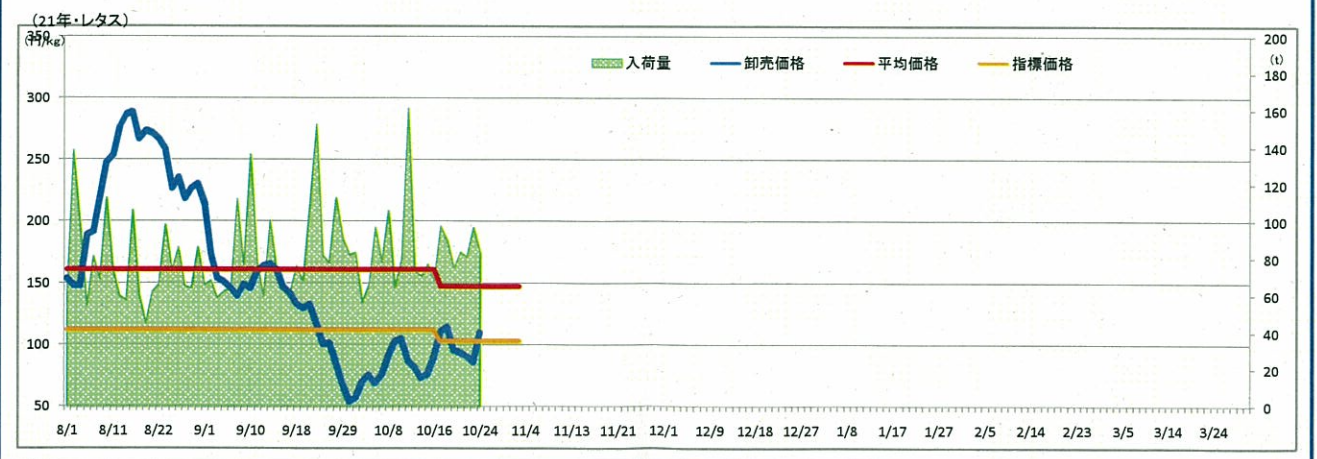
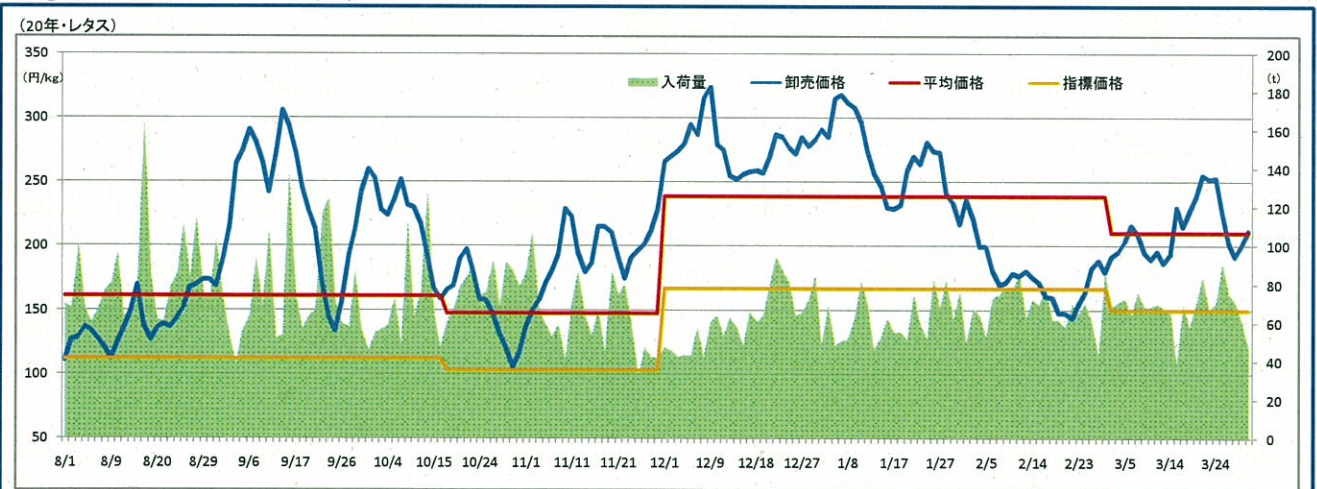
冬レタス(11月～3月)の需給・価格動向

1. これまでの入荷量と価格の推移

① 東京都中央卸売市場



② 大阪市中心卸売市場



2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成 21 年の冬レタスの供給計画によると、全農が 6 月に策定した当初計画においては、作付面積は対前年比 104%（系統共販分）、10アール当たり収量 106%を見込み、出荷量は 115%としたところである。（※確定計画は 10 月末日に確定）

○当初計画(21年6月時点)

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
5,529	5,336	104	2,441	2,302	106	134,977	12,282	110	126,723	110,388	115

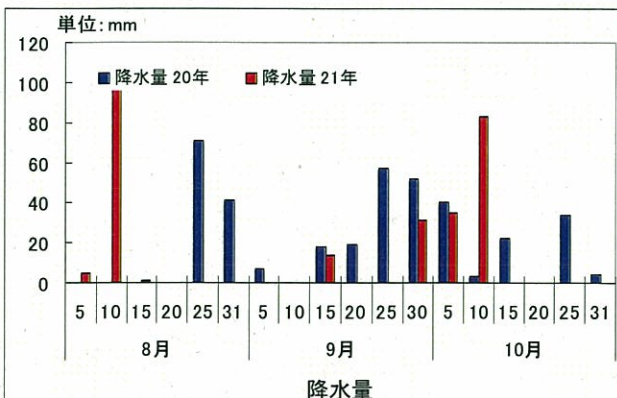
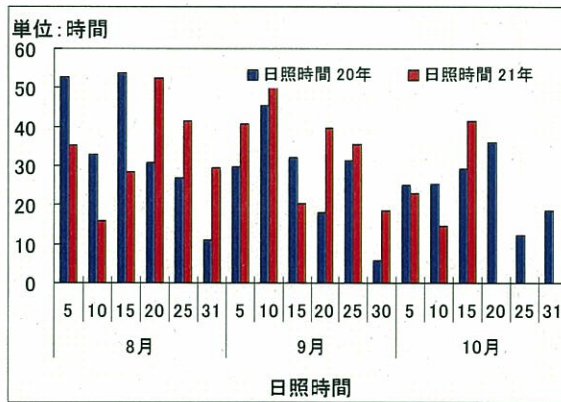
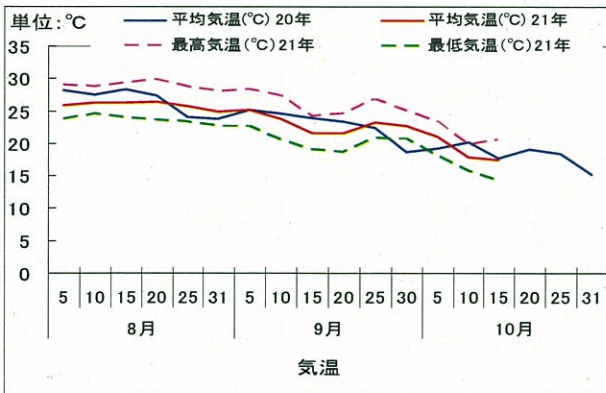
(2) 生産(生育)・出荷状況

資料 3-7 のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移(兵庫県 洲本)

気温はほぼ前年並み出推移しており、8月から10月中旬にかけての積算では前年比で 98%。日照時間は安定した推移となっており、9月から10月中旬にかけての積算の前年比で 113%でとなっている。降水量は本年は8月後半以降少雨傾向で推移していたが、10月上旬には台風 18 号の影響でまとまった降水となった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、

原資料：気象庁「AMeDAS」

②この先の気象状況

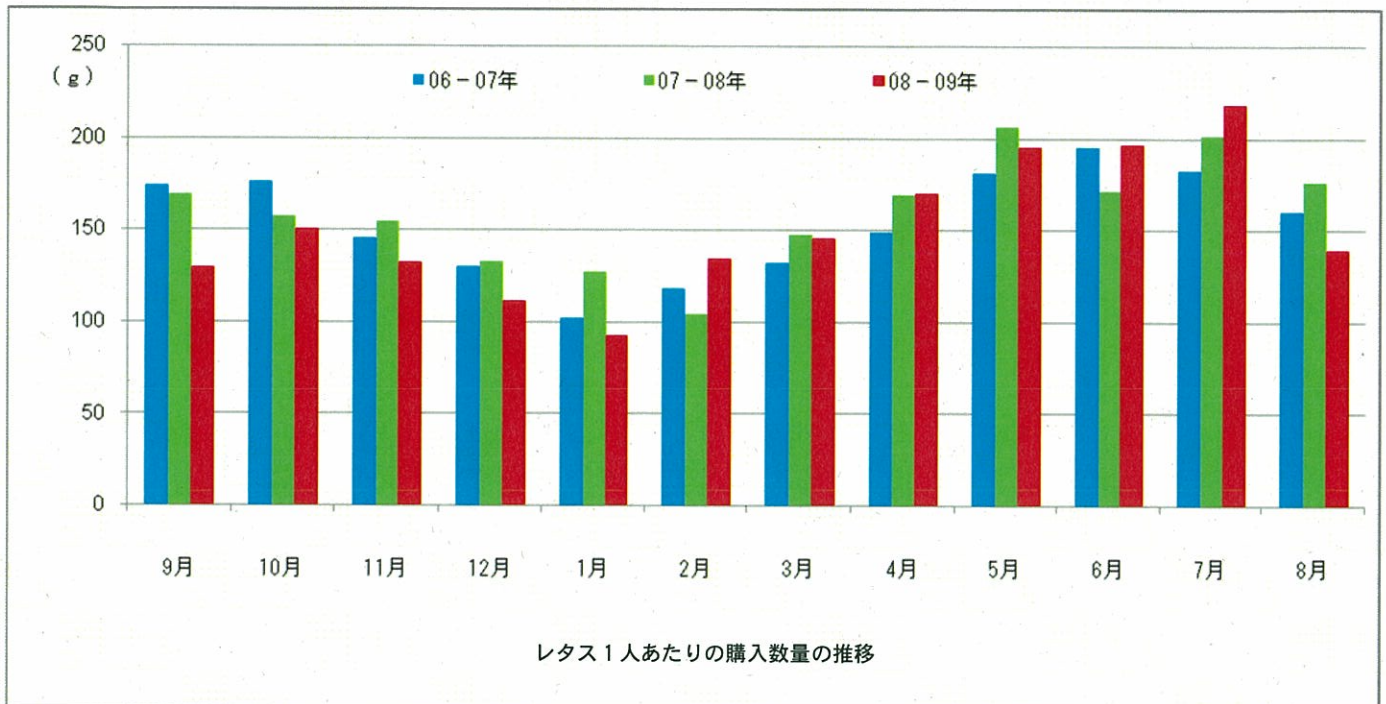
- ・下妻
- ・御前崎
- ・洲本
- ・高松

3 需要動向（個別品目）

(1) 家計消費

① 1人あたり購入数量

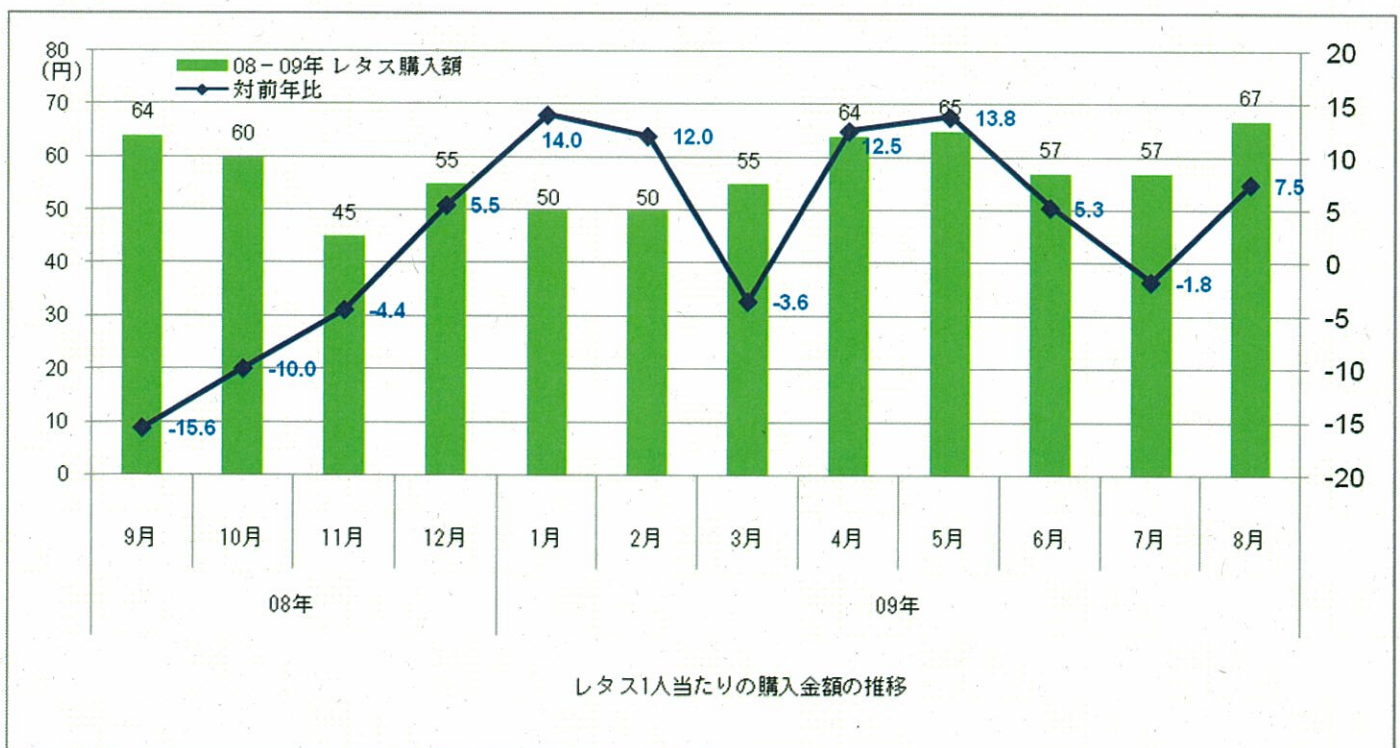
本年は6月～7月は高冷地を中心に潤沢な出回りとなり、安値推移となり購入量も上昇した。一転して8月に入ると7月下旬の降雨・曇天が続いた影響で入荷減となり、価格が上昇したことをうけ、購入量も大きく減少した。



資料：家計調査報告（総務省）

② 1人あたり購入金額

小売価格が低落した3月および7月は、購入数量が前年を超えたものの、購入金額で前年を下回った。

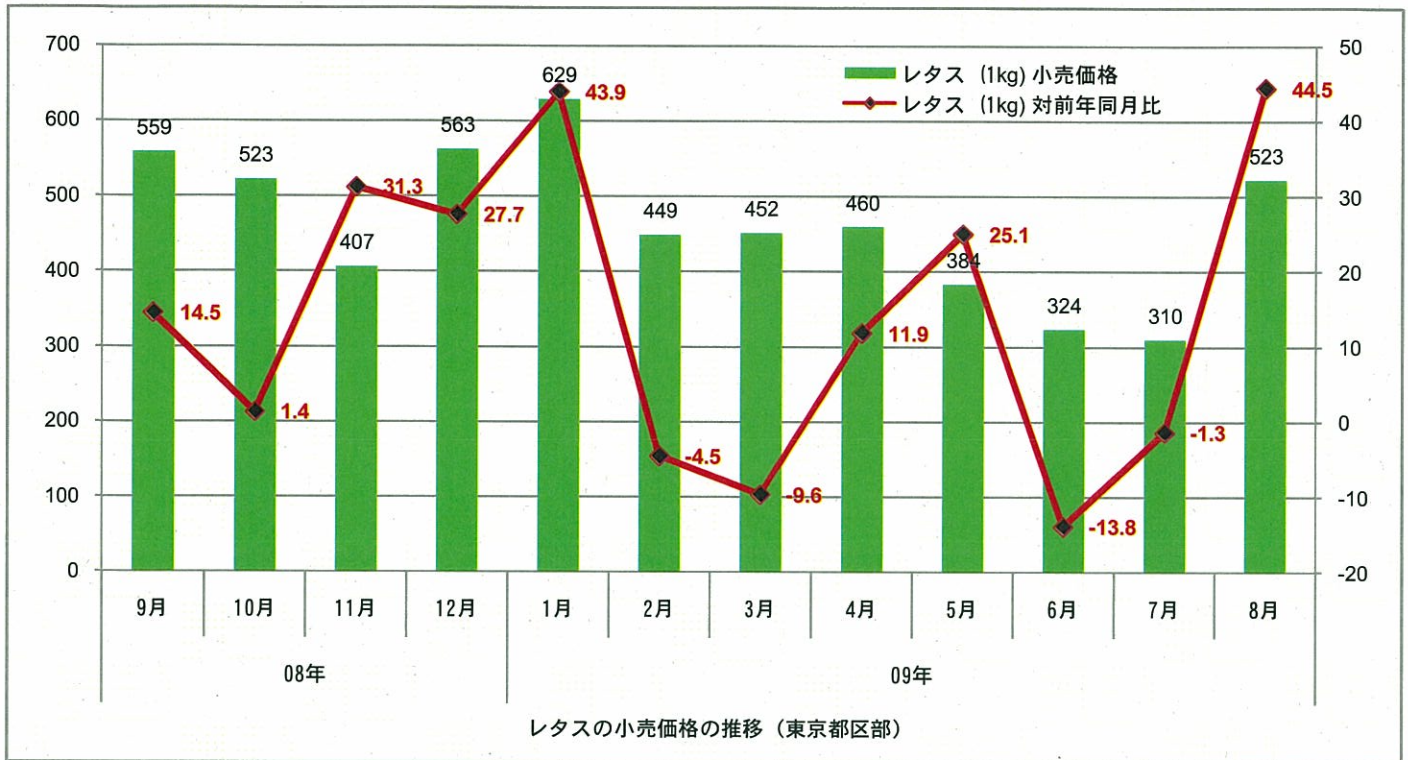


資料：家計調査報告（総務省）

(2) 小売価格 (個別品目)

① 小売価格 (東京都区部)

前年のゲリラ豪雨等の影響により、11月から1月出荷が不安定となり、価格も大きく上昇した。本年夏秋期は6月の安定した天候により潤沢な出荷となり、7月に大幅に価格低落したが、7月下旬以降は天候不順により出荷が減少し、8月は大幅に価格上昇した。



資料：小売物価調査 (総務省)

② 小売価格 (全国)

卸売価格と小売価格の連動性などについて検証するため、平成21年7月から当機構による全国的な小売価格の定点調査を開始した。(参考資料3)

なお、本調査結果は、当機構のホームページの野菜情報サイト「ベジ探」中、「野菜の小売実態調査」として公表されている。

(URL: <http://vegetan.vegenet.jp/>)

○冬レタスの過去における市場隔離等の実施状況

実績なし